薬剤耐性(AMR)って 何だろう?

細菌

抗菌薬 (抗生物質)は 最後まで 飲み切ってね!

くすり



本来であれば効果があるはずの抗菌薬(抗生物質)が 効きにくくなる、または効かなくなることをいいます。





当省X(旧 Twitter) ※11月上旬配信予定

【11月は薬剤耐性(AMR)対策推進月間】

薬剤耐性菌はヒトと動物、両方に関わる問題です。農水省は動物分野の対策を推進しています。

⚠AMR クイズ

ペットに処方された抗菌薬、体調が回復してきたら薬をあげるのをやめる。〇か×か。



AMR クイズの答え:X

抗菌薬は処方されたとおりに最後まで!

薬が効かない「やっかいな細菌」 #薬剤耐性菌 を増やさないため、獣 医師の指示に従って、きちんと最後まで飲ませてください。

動物分野の薬剤耐性対策

https://www.maff.go.jp/j/syouan/tikusui/yakuzi/torikumi.html

ペットの獣医さんだけじゃない!

#家畜の獣医さん #産業動物獣医師 のことを知ってほしくて、展示やります。

場所:農林水産省本省 消費者の部屋

期間:11/18(月)~11/22(金)

https://www.maff.go.jp/j/heya/

動物用医薬品や薬剤耐性菌のこともご紹介します。

#11月は薬剤耐性対策推進月間



(生産者の皆様へ)引き続き抗菌剤の慎重使用にご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

「薬剤耐性菌」は抗菌薬の使い過ぎなどによって増加し、動物の病気の治療を困難にしてしまう可能性があります。

農林水産省では令和5年度に家畜の生産者や獣医師などを対象に「薬剤耐性(AMR)に関する認知度調査」を実施しました。

調査の結果、7割以上の生産者の方が、薬剤耐性菌について認知しており、8割以上の生産者の方が飼養環境の改善やワクチンの使用により疾病の発生予防することで、抗菌薬の使用を減らすことを認知していました。

国際的にも、抗菌薬の使用を減らすことが求められています。このため、抗菌薬を 真に必要な時にのみ使用する「慎重使用」が重要です。

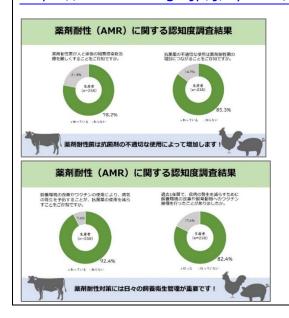
知らなかった方はこの機会に、知っていた方は引き続き、薬剤耐性対策へのご理解・ ご協力をよろしくお願いいたします。

薬剤耐性(AMR)に関する認知度調査はこちら

https://www.maff.go.jp/j/syouan/tikusui/yakuzi/attach/pdf/torikumi-41.pdf

農林水産省が推進している薬剤耐性対策はこちら

https://www.maff.go.jp/j/syouan/tikusui/yakuzi/torikumi.html



メールマガジン

● **農業担い手メールマガジン** ※10 月 31 日配信予定

・登録者数:1万7,400名(農業経営者を含めた農業関係者の方々を対象)

【明日から薬剤耐性対策推進月間です!】

薬剤耐性とは、特定の種類の抗菌剤が効きにくくなる、または効かなくなることを言います。

抗菌剤は、人の医療だけでなく畜産業、小動物医療、水産業、農業など幅広い分野で用いられています。動物分野では動物用医薬品や飼料添加物として使用されており、動物の健康を維持し、良質な畜産物を安定供給するために抗菌剤の使用は不可欠です。

しかしながら、動物への抗菌剤の使用により薬剤耐性菌が増加すると、動物の治療を困難にするだけでなく、動物から人に菌が伝播して、人の感染症の治療を困難にすることが懸念されます。

このため、獣医療従事者、畜産生産者、ペットの飼い主、人の医療従事者などの様々な立場にある関係者が連携して、抗菌剤の慎重使用に取り組む必要があります。

11月の薬剤耐性対策推進月間に合わせて、獣医師とも連携しながら今一度抗菌剤を適切に使用できているかを見直してみましょう。

YouTube で動画を公開しておりますので、ぜひご覧ください。

- ◇ 畜産生産者の皆さまへ 薬剤耐性菌をご存じですか? (農林水産省公式 YouTube 「maffchannel」) (30 秒 ver)
- → https://youtu.be/kgAR6ZIcw-g
- ◇ 薬剤耐性対策についてはこちら(農林水産省 Web)
- → https://www.maff.go.jp/j/syouan/tikusui/yakuzi/torikumi.html
- ◇ お問い合わせ先

農林水產省消費 • 安全局畜水産安全管理課(担当:薬剤耐性対策班)

TEL: 03-3502-8097 (直通)

● e-普及だより ※11月20日配信予定

・登録者:主に都道府県にて改良普及員として働いている方

◆今週は「世界薬剤耐性 (AMR) 啓発週間」です。

関係者と連携して薬剤耐性対策に取り組みましょう!

【消費・安全局畜水産安全管理課】

「薬剤耐性菌」は抗菌薬の不適切な使用により、薬剤耐性菌が増加すると本 来効果があった抗菌剤が効きにくくなり、畜産物の生産に支障が生じる可能 性があります。

これは世界的にも重要な問題となっており、抗菌薬を使用する全ての方にその使い方を見直していただくため、11/18~11/24が世界薬剤耐性(AMR) 啓発週間とされています。

薬剤耐性菌を増やさないためには、施設内の洗浄・消毒の徹底など、日頃の 飼養衛生管理を徹底することで感染症を予防し、抗菌薬の使用機会を減らす 慎重使用の取り組みが重要です。

普及指導員の皆様におかれましては抗菌薬の慎重使用について、生産者の皆様にお伝えいただき、今一度、抗菌薬の使い方の見直しを促していただくようよろしくお願いいたします。

▼詳細はこちら

(参考 URL)

動物に使用する抗菌性物質について(農林水産省ホームページ)

https://www.maff.go.jp/j/syouan/tikusui/yakuzi/torikumi.html

薬剤耐性(AMR)対策推進月間についてのリーフレット(生産者向け)

https://www.maff.go.jp/j/syouan/tikusui/yakuzi/attach/pdf/torikumi-37.pdf

畜産生産者向け薬剤耐性対策普及啓発動画(Youtube)

https://www.youtube.com/watch?v=g aV3SG8Z-g

※お問い合わせ先

農林水産省 消費・安全局 畜水産安全管理課

(担当:福永、出口、田中、冨金原) (03-3502-8097)

抗菌薬は(抗生物質など)

ペット・家畜など・あなた みんなに大事な お薬です。

◇ あなたができる薬剤耐性対策は?

- ✓ 抗菌薬を使う機会を減らすため、飼養衛生管理の向上や 適切なワクチン接種により、感染症を予防しましょう。
- ✓ 適切な抗菌薬を選択するため、適宜、検査を受けましょう。
- ✓ 獣医師などの指示通りに抗菌薬を使いましょう。
 - ☆有効な抗菌薬が減ってしまうと、感染症の治療が困難になります。 いまある抗菌薬の有効性を維持するためにも、薬剤耐性対策に御協力ください。

農林水産省では、動物分野の薬剤耐性対策、水産分野の 薬剤耐性対策を含めた医薬品情報についてご案内しています。





獣医になろう!

家畜の獣医さんのお仕事と動物用医薬品について紹介します!



【展示内容】

- ◆産業動物獣医師について
- ◆動物用医薬品の品質、安全性を 確保する仕組みについて
- ◆抗菌剤が効かない、薬剤耐性菌 について



展示期間

2024

11/18 国 ~ 11/22 🗟

開室時間 10:00~17:00

(初日は12:00から、最終日は13:00まで)

農林水産省 北別館1階「消費者の部屋」

〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1 東京メトロ「霞ヶ関駅」下車A5、B3a出口すぐ お問い合わせ

- 農林水産省 消費・安全局畜水産安全管理課 03-3502-8097
- 農林水産省「消費者の部屋」03-3591-6529



農林水産省主催

令和6年度

動物分野における薬剤耐性対策ミニセミナーを開催いたします

抗菌薬が効かない薬剤耐性菌の増加が国際的な課題となっています。薬剤耐性への対策は、人の健康だけでなく、家畜やペットの健康維持に必要不可欠なものであり、その取組には獣医師や生産者、ペットオーナー等、関係者の理解を高めることが重要だと考えられます。

そこで今回、薬剤耐性に関する様々な分野の最新情報を紹介し、薬剤耐性対策の一層効果的な推進に資することを目的に、下記のとおり、テーマを分けて全7回のセミナーを開催します。

■開催日時: Day1 11月15日(金)

Day2 11月19日(火)

Day3 11月20日(水)

Day4 11月21日(木) ※各回19:00~20:00

Day5 11月25日(月)

Day6 12月6日(金)

Day7 12月9日(月)

■開催形式:Zoomウェビナーによるリアルタイム配信!

■お申込み:https://forms.gle/gPHc5gNPFWugzN8o9



60分程度のミニセミナーですので、お気軽にご参加ください。 ※申し込まれた方を対象に、期間限定でセミナーのアーカイブ配信を予定しております。

※演題は変わる場合がございます。

Day1

令和6年11月15日(金)19:00~20:00 豚×呼吸器病



「農場の飼養衛生管理によるPRDC制御の事例」

呉克昌 (一般社団法人 日本養豚開業獣医師協会 代表代行理事)

「抗菌剤使用適正化に貢献した呼吸器病対策の事例」

遠矢 良平 (宮崎県農業共済組合 生産獣医療センター 養豚生産獣医療課)

「豚呼吸器複合感染症(PRDC)とワクチン - 抗菌剤に依存しないPRDC対策- 」

平修(一般財団法人日本生物科学研究所検査部次長)

Day2

令和6年11月19日(火)19:00~20:00 水産分野



「水産分野における薬剤耐性(AMR)の情勢について」

高橋 延之 (農林水産省 消費・安全局 畜水産安全管理課 水産安全班)

「水産分野における抗菌剤の使用を必要最小限とする魚病対策とその普及啓発活動 |

福田 穣 (大分県水産養殖協議会 事務局長)

「海面養殖における衛生管理について」

原川 翔伍 (愛媛県 農林水産研究所 水産研究センター魚類検査室 主任)

Day3



令和6年11月20日(水)19:00~20:00 愛玩動物×皮膚病

「伴侶動物分野における抗菌剤使用量と薬剤耐性の動向」

松田 真理 (動物医薬品検査所 動物分野AMRセンター)

「犬の細菌性皮膚疾患における薬剤耐性の動向と対策」

伊從 慶太 (株式会社1sec. 最高技術責任者)

「動物病院における院内感染対策 |

笹岡 一慶(北海道大学 大学院獣医学研究院附属動物病院 助教)

Day4





「牛乳房炎の診断と治療の考え方 ~薬剤耐性を考慮した効果的な治療法を模索して~」 河合 一洋 (麻布大学獣医学部獣医学科 獣医衛生学研究室 教授)

「乾乳期の選択的治療」

菊 佳男(酪農学園大学 農食環境学群 循環農学類 教授)

Day5

令和6年11月25日(月)19:00~20:00 肉用鶏×大腸菌症



「ブロイラーにおける大腸菌の薬剤耐性モニタリング」

細井 悠太 (動物医薬品検査所 動物分野AMRセンター)

「鶏大腸菌症の病態と最近のトレンド」

永井 寿宗 (株式会社ESAC 代表取締役)

「大腸菌症の発生状況と対策、抗菌剤の慎重使用」

橋本 信一郎 (株式会社ウェルファムフーズ) 防疫対策部会長 兼 宮城産業動物診療所長)

Day6

令和6年12月6日(金)19:00~20:00 肉用牛×呼吸器病(前編)



「呼吸器病の発生状況について」

古庄 宏忠 (農林水産省 経営局保険監理官 家畜班)

「薬剤感受性に基づいたBRDCにおける抗菌剤治療」

加藤 敏英 (株式会社微生物化学研究所 学術課)

「感染の背景にあるストレスや日和見感染に関する飼養方法に関するアプローチ」

出口 祐一郎 (宮崎県農業共済組合 生産獣医療センター 生産獣医療課)

Day 7

令和6年12月9日(月)19:00~20:00 肉用牛×呼吸器病(後編)



「BRDCワクチンと薬剤耐性対策」

荻窪 恭明 (動物医薬品検査所 検査第一部長)

「BRDC対策におけるワクチンの活用」

岡章生(株式会社微生物化学研究所 動物医薬学術室 学術課 シニアテクニカルアドバイザー 獣医師 獣医学博士)